

8月22日（木）

サンパウロ市議会議員との意見交換

サンパウロ市議会は市役所から少し離れたところにあり、入口周辺には厳重な警備が敷かれ、治安状況が大阪とは異なることを感じさせられた。サンパウロ市議会では事務局職員の誘導により、本会議場へ案内された。本会議場は正面に乳白色の光沢感のある壁材が使用されており、大阪市会本会議場とは異なった重厚感のあるものであった。



（本会議場にて）



（挨拶する西副議長）

続いて、議会 8 階議長応接室において、野村アウレリオ議員、羽藤ジョージ議員、林ロドリゴ・グラール議員と日系社会の状況などについて意見交換を行った。

【西副議長挨拶要旨】

皆様と本日お会いすることを大変楽しみにしていた。また、心温まる歓迎に心から感謝申し上げる。

両市の55年間にわたる交流の歴史は、学術交流や技術交流、スポーツなど様々な分野において活発に展開され、両市民の絆を深めながら友好親善が図られてきた。私もこのような貴重な交流の歴史と成果を誇りに思うとともに、姉妹都市提携55周年を機に、新たな時代に向けて両市の絆が今まで以上に緊密なものとなるよう努めてまいらなければならないとあらためて感じている。

また、来年は「大阪・関西万博」が開催される。ぜひ、サンパウロ市議会の皆様にも大阪へお越しいただき、活力あふれるその姿と大阪の「おもてなし」を感じていただきたい。大阪で再びお会いできることを楽しみにしている。

最後に、サンパウロ市議会の皆様に深く感謝申しあげるとともに、サンパウロ市議会のますますのご発展と、大阪市とサンパウロ市の繁栄を祈念する。

【主な意見交換の内容】

- ・サンパウロ市議会では10月に選挙を控え、今は大変忙しい時期である。ブラジルには約200万人の日系人がおり、日系人社会の存在は大きい。サンパウロ市には市議会議員は55人いる。我々3人は日系人議員であるが日系人以外も応援してくれている。
- ・近年はブラジル社会と日系社会の融合が進み、日系人同士だけでなく日系人以外との婚姻も増加しており、また、様々な分野において日系人の活動が広がっている。
- ・日本人会においては一世、二世は活動が熱心だが、三世以降は日系人であるという意識も希薄化してきており、日本人会の運営の担い手不足の問題を抱えている。



(議長応接室にてサンパウロ市議会議員と)



(意見交換の様子)

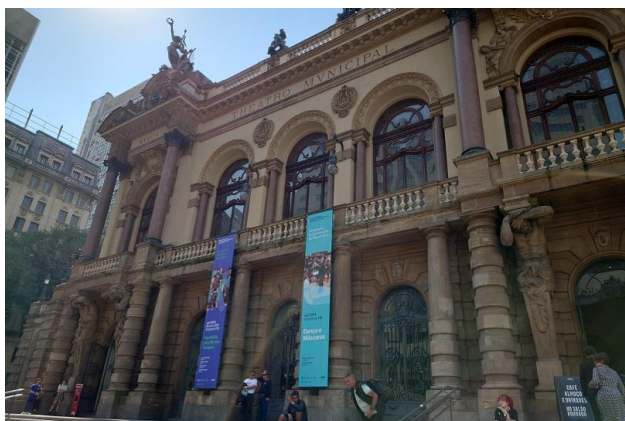
サンパウロ市立劇場視察

市議会を訪問した後、サンパウロ市立劇場を視察し、劇場職員より劇場の歴史、設備等について説明を受けた。

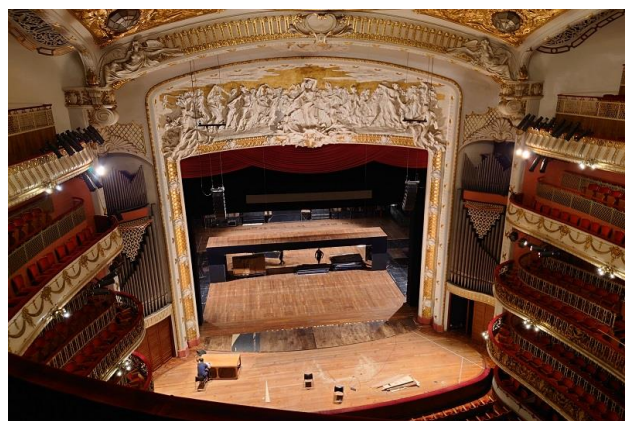
ラモス・デ・アゼヴェド広場に位置するサンパウロ市立劇場は、20世紀初頭に開館し、サンパウロ市の象徴的な存在となっている。劇場には、14,000枚以上のステンドグラスがあり、内部には絵画などの美術作品が展示され、豪華な装飾が施されている。

開館時の外観は維持しながらも、設備の近代化のために何度も修復と改装が行われている。

同劇場では国内外のダンス公演、オペラ、コンサート等の芸術的なパフォーマンスが行われており、サンパウロにおける舞台芸術活動の中心的存在である。



(サンパウロ市立劇場の外観)



(豪華な装飾が施された同劇場内部)

サンパウロ市国際関係局長への親善訪問

午後3時より、サンパウロ市役所において、同市国際関係局長ヒカルド・ゴミジ氏への親善訪問を行った。

【西副議長挨拶要旨】

ゴミジ国際関係局長をはじめ、皆様と本日お会いすることができ、大変嬉しく、また、心温まる歓迎に心から感謝申しあげる。

大阪・サンパウロ姉妹都市提携55周年という記念すべき年にサンパウロ市を訪問できたことは大変光栄である。

両市の55年間にわたる交流の歴史は、学術交流や技術交流、スポーツなど様々な分

野において活発に展開され、両市民の絆を深めながら友好親善が図られてきた。私どもはこのような貴重な交流の歴史と成果を誇りに思うとともに、姉妹都市提携55周年を機に、新たな時代に向けて両市の絆が今まで以上に緊密なものとなるよう努めてまいらなければならないとあらためて感じている。

また、来年は「大阪・関西万博」が開催される。ぜひ、サンパウロ市の皆様にも大阪へお越しいただき、活力あふれるその姿と大阪の「おもてなし」を感じていただきたい。大阪で再びお会いできることを楽しみにしている。

最後に、ヒカルド・ゴミジ国際関係局長をはじめ、サンパウロ市の皆様に深く感謝申しあげる。

【高橋副市長挨拶要旨】

ゴミジ国際関係局長及びご臨席の皆様には、お忙しい中お時間をいただき、心より感謝申しあげる。本日は、大阪市会代表团、大阪・サンパウロ姉妹都市協会代表团とともにサンパウロ市を訪問させていただいた。

サンパウロ市と大阪市は、55年前の1969年10月に姉妹都市提携を行い、文化・スポーツ・経済等様々な交流を行ってきた。

今回の訪問では、両都市間のさらなる交流促進や大阪・関西の魅力発信を図るため、ビジネスセミナーの開催や関係施設の視察、意見交換が予定されている。今回の訪問での活発な意見交換を通し、今後も様々な分野の交流を深めてまいりたい。

いよいよ来年には、大阪・関西万博が大阪のベイエリアで「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして開催される。今朝、サンパウロ州工業連盟を訪問し、万博を機会に大阪へのミッション団派遣にも言及いただいた。サンパウロ市においても姉妹都市として、ぜひ大阪市役所にお越しいただくとともに、また、万博のほうにはサンパウロ市民の皆様にお越しいただくことを期待している。

最後に、私共をサンパウロ市に温かく迎えてくださった全ての皆様にお礼を申しあげるとともに、今後の両市の友好親善のますますの発展を祈念する。

【主な意見交換の内容】

サンパウロ市側より

- ・大阪市はサンパウロ市にとって重要なパートナーである。特にスポーツイベントに関して日本から学ぶことは多い。
- ・大阪・関西万博に期待している。サンパウロ市からもぜひ訪問したい。
- ・教育は非常に重要と考えている。大阪市から教育について学ぶことは多く、今後も万博などのイベントに合わせてパートナーシップが深まることを期待している。

大阪市側より

- ・現在大阪市は歩道の拡大やうめきた公園の開発などを進めており、まちの様子が大きく変貌している。大阪にお越しの際には、ぜひ大阪の変化をご覧になっていただきたい。
- ・大阪市の企業とサンパウロ市の企業の交流を活発化させたいので協力をお願いしたい。
- ・大阪にお越しの際には、ぜひ大阪市会としても歓迎したい。そして、さらに交流を深めてまいりたい。



(意見交換の様子)



(サンパウロ市国際関係局長ゴミジ氏（右から3人目）と)

大阪橋視察

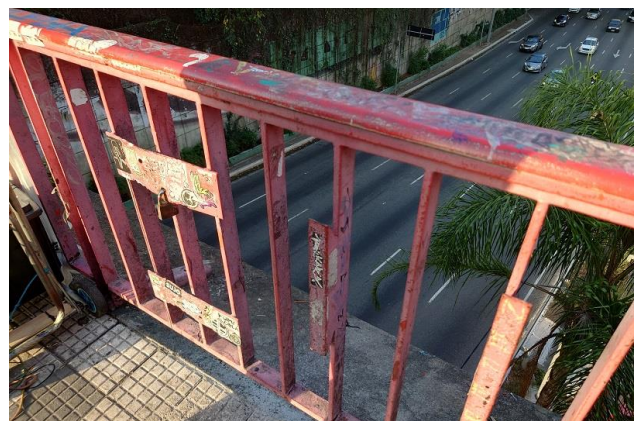
東洋人街であるリベルダージ地区の中心に架かる大阪橋を視察した。

大阪橋は、大阪市とサンパウロ市が1969年に姉妹都市提携を行った記念に建設された。当時、大阪橋の一带は大規模な日本人街であったが、近年、中国・韓国系の店舗が増加している。

橋の手前には1970年万博の基金で作られた大きな鳥居があり、日本的な雰囲気がある。1971年に、姉妹都市を記念して命名された「大阪橋」の銘板を大阪市からサンパウロ市へ寄贈した。しかしながら、同銘板は盗難に遭い現在では存在しておらず、残念ながら「大阪橋」の名称がサンパウロ市民に表示できていない状態であった。



(大阪橋)



(銘板のあった場所)

在伯大阪なにわ会との意見交換

続いて、大阪なにわ会会館において、在伯大阪なにわ会との意見交換を行った。

在伯大阪なにわ会は、1965年に結成された大阪府のいわゆる県人会である。同会は日本舞踊講座や剣道教室などの文化事業や慈善事業、就学制度・研修制度などの育英事業等を通じて日本文化の普及促進に尽力されている。

在伯大阪なにわ会の下平尾会長から歓迎の挨拶の後、高橋副市長、西副議長、吉川大阪・サンパウロ姉妹都市協会会長から挨拶を行った。

【高橋副市長挨拶要旨】

この度は、大阪・サンパウロ姉妹都市提携55周年の節目に、大阪市会代表团、大阪・サンパウロ姉妹都市協会の皆さんとともに、サンパウロ市を訪れることとなった。

下平尾会長をはじめ、大阪なにわ会の皆様には、日頃から本市とサンパウロ市の姉妹都市交流にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。また、このような温かいおもてなしをいただき、心からお礼を申しあげる。

大阪なにわ会が、様々な文化・慈善事業を通してサンパウロにおける日本文化の普及促進に取り組んでおられることに敬意を表したい。

今回の訪問では、ビジネスセミナーの開催のほか、大阪市立田辺小学校の姉妹校であるサンパウロ市立オオサカシ小学校や関係施設の訪問等を予定している。また、剣道教室用として、本市職員の有志から集めた防具を持ってまいった。是非、今後の活動にお役立ていただきたい。

大阪なにわ会の今後益々のご発展と、下平尾会長をはじめ会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念する。

【西副議長挨拶要旨】

下平尾会長をはじめ、在伯大阪なにわ会の皆様には、長きにわたり大阪市とサンパウロ市の姉妹都市交流にご尽力いただき、また、本日はこのような心温まるおもてなしでお迎えいただき、心からお礼申し上げます。

これまで大阪市・サンパウロ市の両市が積み重ねてきた交流が姉妹都市提携55周年という節目を迎えたことは誠に意義深く、ここサンパウロ市で共にお祝いできることを大変嬉しく思う。

大阪市とサンパウロ市の姉妹都市交流において、55年間という長きにわたる歴史とその成果は、ここにお集まりの方々をはじめ、両市市民の熱意とたゆまぬご努力の賜物であると、あらためて深く敬意と感謝の意を表する。

大阪市会としても、この姉妹都市提携55周年を機に両市の交流をますます緊密なものとし、皆様方とともに日本とブラジルの友好協力関係の発展に大きく寄与してまい

りたい。

最後に、在伯大阪なにわ会の皆様におかれては、大阪・サンパウロ両市の懸け橋として、これからも引き続きお力添えをお願いするとともに、下平尾会長をはじめ会員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念する。

この後、50周年の訪問時に引き続き、在伯大阪なにわ会に剣道防具の贈呈を行った。2019年度から日本文化の普及のために同会が剣道教室を開催しているが、剣道防具が不足していることから、大阪市職員有志から寄せられた防具を贈呈するものである。

防具贈呈セレモニーに続いて、大阪に関する情報発信や剣道、日本語などに関する講座開設など同会が現在取り組んでいる活動について紹介があった。また、50周年の訪問をきっかけに大阪市が書籍の収集に協力してきたなにわ図書館の活動状況に関する説明を受けた。



(剣道防具の贈呈)



(活動について説明を受ける様子)



(在伯大阪なにわ会 下平尾会長と)